

— 大樹町宇宙航空課ニュースレター —

Taiki Aerospace News

HOSPO滑走路にて皆既月食観測会を実施

2025年9月8日未明、全国各地で約3年ぶりとなる皆既月食が観測されました。

北海道大樹町では、日本旅行が主催し、スペースコタン（小田切義憲CEO）が協力する形で、「皆既月食特別観測＆撮影体験イベント」が開催されました。本イベントには十勝管内を中心に12名が参加し、星景写真家・北山輝泰氏を講師に迎えて、月食の仕組みや撮影方法についての講義を受けた後、北海道スペースポート滑走路にて実際の観測・撮影を行いました。

午前1時27分に部分食が始まり、2時30分には皆既食へ。3時12分には雲がかかり一時的に月が見えなくなる場面もありましたが、3時27分頃には雲が晴れ、地球の大気によって赤く染まった“赤銅色の月”が姿を現しました。

幻想的な天体ショーに、参加者からは感動の声が上がりました。



皆既月食の様子



皆既月食ってなに？～今日のなんちゃら雑学～

皆既月食は、月が地球の影にすっぽり入る現象なんだよ。

このとき、月は赤く見えることがあって、「赤い月」とも言われているんだって。

赤く見えるのは、太陽の光が地球の空気を通ると青い光は散らばり、赤い光だけが月に届くからなんだよ。宇宙での地球と月の位置の関係で起こる、自然の仕組みのことだよ。

北海道宇宙サミット2025 参加受付開始

日時：2025年10月 9日（木）9:00～20:00（受付：8:30）

10月10日（金）9:00～16:00（受付：8:30）〔予定〕

開催場所：ベルクラシック帯広（〒080-0012 北海道帯広市西2条南35丁目1-27）

プログラム：カンファレンス、協賛企業・宇宙産業PRブース

（9日 9:00～18:00、10日 9:00～16:00）

MEET UP（9日18:30～20:00）

開催方法：現地開催＆オンライン配信（オンラインはカンファレンスのみ）

参加人数：カンファレンス 各日800名、MEETUP（交流会） 250名

参加費：カンファレンス 無料 MEETUP（交流会） 10,000円／名



▲参加お申込みはこちら



ISTの職員研修にて町長が講演

2025年8月26日、インターステラテクノロジズ社にて職員研修が行われ、町長が「大樹町40年の宇宙への取り組みと今後への期待」をテーマに講演しました。

町長は、町が進めてきた宇宙のまちづくりについて、十勝の開拓を主導した晩成社の依田勉三の紹介をはじめ、過去に町内で行われた実験や宇宙関連の取り組みが始まった経緯、さらには今後の町の姿について、30分にわたり熱意を込めて語りました。

当日はオンライン参加を含め約220名が出席し、熱心に耳を傾けました。

質疑応答の時間には多様な質問が寄せられ、町長は丁寧に答えながら、町の取り組みに対する理解を一層深める機会となりました。



講話の様子

大樹小学校でペットボトルロケット製作教室開催

9月11日に大樹小学校の5年生が、地元への理解を深める「**大樹学**」の一環としてペットボトルロケットの製作と打上げを行いました。

児童は1人1機製作し、手順書を読み進めながら、分からないところは互いに助け合い、打上げを成功できるよう製作に取り組みました。

打上げでは、カウントダウンの合図とともにロケットは水を噴射しながら勢いよく上がり、大きな歓声があがりました。

打上げは2回行い、2回目にはペットボトルに入れる空気の量を増やしたり、児童の中には水の量を調整するなどして、工夫していました。

どうすれば真っすぐ、そして遠くまで飛ぶのかを考えながら取り組んでいる様子で、ロケットの打上げを身近に感じてもらえる貴重な機会となりました。



製作の様子



打上げの様子